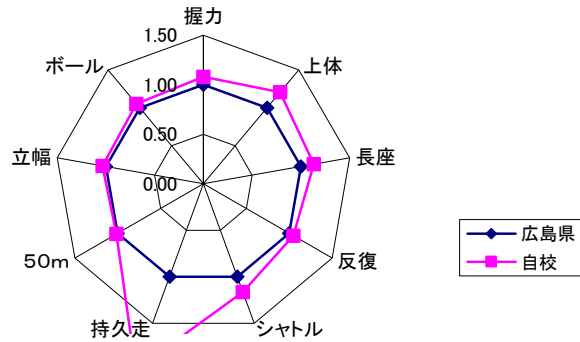


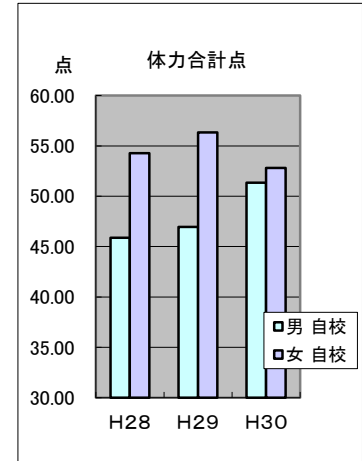
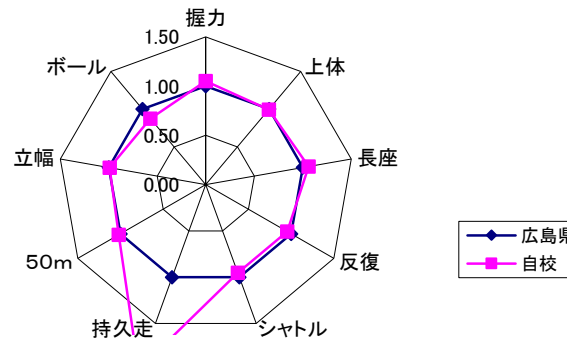
男子の体力合計点 学校 51.35 点 県平均 44.79点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 52.81 点 県平均 52.76

体力・運動能力調査比較(中2女子)



H30体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・前年度と比較すると、2年男子が0.43秒、2年女子が0.21秒伸びている。1年、3年は男子が下回っている。
 - ・走る姿勢、腕ふりが適切でないことや地面をける力が身に付いていない、自己に合ったピッチとスライドで走る指導を引き続き行う。
- ② 立ち幅跳び(中学校区の課題種目)
 - ・特に1年男子は、県平均-10cmと下回っている。ほとんどの生徒が電車やバス通学、送り迎えで登校しており、基本的な筋力が不足している。また、2年生女子が県平均を下回っている。これは、運動部所属率が低いこと、授業以外での運動をする機会が少ないこと、筋パワーや瞬発力を向上させる基礎体力づくりに対する取組不足が原因と考えられる。
- ③ ハンドボール投げ(自校の課題種目)
 - ・前年度と比較すると、2年生女子は-3.46mとなっている。県平均全国平均と比較すると、2年男子は上回ったが、1・3年男子や1・3年女子下回っている。
 - ・運動不足や投げる動作の経験不足が顕著になってきている。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

| | |
|--------------------------|--|
| ①呉市の課題種目 (50m走) | 具体的な取組内容 ・保健体育の授業で、補強運動の中に両脚ジャンプや縄跳び、マーカータッシュなどの瞬発力を高める運動を取り入れる。 ・陸上競技(短距離走・リレー・ハードル走)の指導において、腕振りによるリズム走や姿勢の維持についての指導を重点的に行う。 |
| ②中学校区の課題種目 (立ち幅跳び) | 具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・陸上競技(走り幅跳び、走り高跳び、長距離走)の指導において、跳ぶために必要な体(膝のバネ)の使い方や腕の振り方、タイミングをつかませる。 ・小中で連携し、児童生徒が意欲をもってできるような運動(ミニハードルなどのアップメニュー)を実施する。また、授業の補強運動に立ち幅跳びを仕組む。 |
| ③自校の課題種目 (ハンドボール投げ) | 具体的な取組内容 ・保健体育の授業の球技の単元を中心に、投げる動作の反復練習や継続的に補強運動を行う必要がある。 ・球技の単元で、体の使い方やボールを離すタイミング、ステップの仕方など具体的に指導する。 |

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)